



大庄屋三木家住宅の母屋であつた結婚式
福崎町西田原

福崎

県の重要文化財に指定されている福崎町西田原の「大庄屋三木家住宅」で結婚式が行われた。文化財の有効活用を進める一環で、2年前に改修した母屋を開放。式を挙げた30代の夫婦は風格ある建物が醸し出す歴史をかみしめながら愛を誓った。

三木家は明暦元（1655）年に飾磨津から辻川に移り、姫路藩の大庄屋として地域の政治、文化の中心を担った。のちに日本民俗

学を確立する柳田国男が幼少期に大量の蔵書を読んだ場所としても知られる。

辻川かいわいは妖怪人形

と特産のもち麦人気で観光

客が増加中。町は昨春、古

民家活用にたけた丹波篠山

市の一般社団法人「ノオ

ト」、神戸新聞社と協定を

結んだ。両社が共同出資す

る新会社が三木家住宅の指

定管理を担い、宿泊利用も

視野に集客に努める。

結婚式はその活動の一環。市川町の農業関根翔さん（32）、明奈さん（35）夫妻と長女のそらちゃん（5）が

花嫁行列をつくり、母屋へ

上がった。友人ら約30人が

津軽三味線の演奏と「折り鶴シャワー」で祝福。尾崎吉晴・福崎町長やかつばの

市川の30代夫婦が結婚式

古民家で永遠の愛誓う

キャラ「ガジロウ」も駆けつけた。明奈さんは「結婚して5年、式は念願だった。立派

な場所で温かく祝ってもらえて良かつた」と笑顔で話した。（井上太郎）